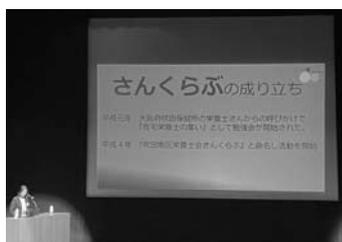


第20回健康都市連合日本支部大会で 吹田地区栄養士会「さんくらぶ」発表



健康都市連合日本支部は地域特性に応じた「健康都市」の実現に寄与することを目的として活動しており、吹田市は保健施策の更なる発展に向けた情報収集や、吹田市の健康医療のまちづくりモデルの情報発信を行うため、平成30年（2018年）6月から加盟しています。

令和6年7月12日に第20回健康都市連合日本支部大会が吹田市文化会館で開催され、加盟都市の市長及び団体の代表者や関係者、市民団体等、約240人が参加し、健康都市を目指す自治体等の中で交流・意見交換が行われました。

①基調講演「循環器病予防を目指した街作り」

（国立研究開発法人国立循環器病研究センター 大津欣也理事長）

②基調講演「いざ！もしも！食の備えで地域が健康に！」

（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 坪山（笠岡）宜代室長）

③活動発表

- ・「住むと健康になるまちに向けた取組」（愛知県愛西市）
- ・「パン食と健康～パンで食卓に笑顔を～」（山崎製パン株式会社）
- ・「スモークフリーシティ・すいたの取組」（吹田市長）
- ・「吹田市内で活動して【32年】吹田地区栄養士会さんくらぶ」（さんくらぶ会長）

吹田市で大会が開催されることが決まり、吹田市健康医療部健康まちづくり室より、「さんくらぶの活動を、全国の皆さんに知っていただきたいので、当大会にて活動発表をしてもらいたい」との依頼を受け発表しました。

さんくらぶの活動理念と各世代別（学童期・青年期・成人期・高齢期）に実施した次の活動内容を報告しました。

●21年間続いている「子ども料理教室」（学童期）

和食の基本を習得することを目的として「みて、さわって、楽しく作ろう」をモットーに実施しています。（安心・安全・楽しい）この活動を広く知ってほしいとの思いで、食育実践本『きらきらキッズクッキング』を2008年に自費出版し2500冊を完売しました。

●食育活動（青年期）

吹田市内4大学の大学祭にて大学生向けに「SATシステム」を活用して「食の自立」を促す取り組みを実施しました。また、初めて一人暮らしを始める学生たちに簡単に作れる料理のレシピ提供や調理実習も実施しました。

●一般向けには健康展（吹田市健康づくり推進事業団主催）で毎年テーマを決めて「SATシステム」を活用してバランスの整った食事について対面で指導を行っています。栄養（食事）について知ってもらうことを目的としたコントなども実施しました。

●男性の自立を目指した男性料理教室は26年間続いています。また、吹田市福祉部高齢福祉室からの依頼によりレシピ提供もしました（吹田市『はつらつ元気レシピ』に掲載）。

これらの活動は多くの方々の協力で実現できたものであり、今後も地域社会との連携を深めながら、幅広い世代に対し健康で豊かな生活を支える取り組みを進めていきたいと締めくくりました。今回の発表で、多くの方々に私たちの活動を知っていただく良い機会となっただけでなく、さんくらぶ会員全員が今までの活動を振り返り、今後の活動を見直す良いきっかけともなりました。意欲もわいてきました。

このたび、このような本誌に報告する貴重な機会をいただき、感謝申し上げます。